



三重中央だより

当院の理念(Principle) ●いのちの尊さを自覚し、病む人の身になって、安心で質の高い医療を行います。

新年のご挨拶

～日常が戻りつつある今、思うこと～

三重中央医療センター
院長 下村 誠



2024年 新年あけましておめでとうございます。
今年も宜しくお願いします

院長として2回目の新年を迎えます。昨年正月は第8波の真ただ中で不覚にも私自身コロナにかかり、職員の皆様には大変ご迷惑をおかけしました。2022年度はコロナ患者を受け入れながらも救急車受け入れ台数も手術件数も過去最高を記録し病院経営は改善しました。しかし喜びもつかの間、コロナ禍での過重労働によりスタッフの離職が相次いだため、2023年上半期は一時入院患者を制限せざるを得ない状況に陥りました。このことを受けて2023年度の病院目標の一つに“認め合い支え合う職場環境の構築”を掲げました。ハラスメント防止宣言を行い、ハラスメントのない働きやすい職場環境の整備を進めてきました。コロナ

も5類に移行し、職員には親睦を深め、コミュニケーションをとれる機会を持つように奨励しました。4年ぶりとなるピアガーデン大会や大規模災害訓練、ミエチュウオウ文化祭などの様々なイベントを開催しました。どのイベントも大盛況で、特にミエチュウオウ文化祭では職員以外にも久居消防や市民ボランティアの方々にステージで演奏や踊りを披露して頂き、マルシェやキッチンカーのお店も出店して頂きました。来場者は1274人と過去最高となり、地域の皆さんと一緒に楽しんで頂いているのを見て、きっと皆なコロナ禍の間こういう日がくることを待ち望んでいたのだと感じ

ました。ご協力いただいた皆さんには心より感謝申し上げます。これからも地域の皆さんとの交流を大切にしていきたいと考えています。

9月には病院機能評価を受審しました。評価者からは当院職員が意欲的に改善に取り組んでいる事を高く評価して頂き、無事認定を頂きましたが、私自身“医療の質”ということを改めて考えさせられました。これまでは病院経営のために改革を進めてきましたが、当院の理念である“安心で質の高い医療”を実現するためにはまだまだ改善すべき課題があることがわかりました。今後は医療の質という面からもしっかりと改革に取り組みたいと思います。

さてこの1年私は毎朝、新救急外来棟が少しずつ形になっていくのを眺めながら登院しておりま

す。まだ周囲には足場が組まれており、全貌はわかりませんが、4月に運用開始予定です。津市の救急車要請件数は右肩上がりに増えており、今年度の当院の救急受け入れ件数は5500台に達する見込みです。今年はいよいよ医師の働き方改革が施行されますが、幸い多くの初期研修医が当院で引き続き後期研修医として活躍してくれる事がきまっております、大きな力となってくれます。当院スタッフは厳しいコロナ禍を乗り越え、たくましく成長しており、これからも救急医療、周産期医療、がん医療など地域に求められる医療をしっかりと支えていきます。

地域の皆様のご支援とご協力をよろしくお願い申し上げます。



市民公開講座 開催報告

がん医療に関する市民公開講座の開催報告

地域医療連携室長補佐 池 畠 博 次



2023年10月7日、三重中央医療センター看護学校体育館において「早期発見が大切受けようがん健診～がん健診は身近なものですか？～」をテーマに市民公開講座を開催いたしました。日程の関係で昨年に引き続き学校体育館での開催となり、イベントホールとは異なり、参加いただいた皆様にはご不便をおかけした面もありましたが、200名近くの皆様にご参加いただき、盛況のうちに終える

ことができました。

今回の講演では、「肺がん」、「子宮頸がん」、「胃がん」、「大腸がん」の4種類のがんに関して、当院でがん診療の中心的な役割を担う医師4名から、がんの治療は早期発見がいかに大切か、その為には、がん健診がいかに重要かをわかり易く説明させていただきました。参加された皆様は、健診が身近なものと感じていただけたのではないかと考えております。

参加者アンケートでは、「がん健診の必要性を感じました、今年もがん健診を受診したいと思うます。」や「早期発見の為には健診が非常に大事であると再認識しました」等の感想をいただきました。皆様からいただいた、ご質問は近日中に当院ホームページにて回答させていただきます。今しばらくお待ちいただき、ぜひご覧下さい。

新型コロナウイルス感染症の感染拡大による健診控えによって、健診以外（症状が出てからの病院受診）でがんが見つかる例が増加し、早期がんが減少しているとニュースで報じられておりました。早期がんは、治る確率が高いといわれております、この講演によって皆様が、がん健診の重要性を認識し、定期的ながん健診によって、早期発見、早期治療につなげるご一助になれば幸いです。



文化祭開催報告



循環器内科医長 新谷 卓也

新型コロナもようやく一区切り。なかなかしんどかったですね。私たち医療従事者もそれなりにくたびれました。

2014年に始まった文化祭も当然中止に追いやられました。それどころでは無かったですから。もう再開は叶わないと思っていましたが、昨年11月、4年ぶりの開催が決まりました。テーマは「Again-再びつながりを-」

医療者と患者さん、病院と地域、いろんな“つながり”を取り戻してゆきたいとの思いが込められましたが、私が最も目指したのは医療者同士のつながりでした。

いろんな心のすれ違いや別れを経験し、いま手を取り合って、まず“つながる”べきは、私たち自身だと。

カメラ愛好家の職員にポスターイメージを撮ってもらうことから始め、共に働く仲間のふとした表情を無数に切り取ってギャラリーにしました。主役は私たち職員です。医療者として常に聖人ではあり得ない。生々しい「人間」の姿に、お互い愛おしさを感じました。

音楽愛好家の職員にはステージ演奏をお願いしました。部署が違うメンバーは、楽曲を通じて瞬時に打ち解けあい、満席の会場で最高のパフォーマンスを繰り広げました。涙してくれた患者様がいらしたとお聞きし、逆にこちらの涙が止まりません。

初回よりお世話になっている久居げんき会のマルシェを始め、津消防音楽隊、チアダンス Shiny Star、よさこい“ワイワイ踊ろう会”の皆様を支えられ、盛會に終えられたことに感謝しています。市民公開講座や健康チェックブースにもたくさんのご来場をいただきました。

人と人の心が深いところで繋がる時、文化の力は偉大だと感じます。ますます結束を固め、安心と信頼の医療を提供してゆきます。



国病学会表彰者の紹介

脳神経外科医長 **深澤 恵児**

この度、第77回国立病院総合医学会にて「3D形状の計測に基づく脳動脈瘤の新たな形態学的評価」という演題を発表し、ベスト口演賞をいただきました。この演題の内容は“くも膜下出血”という恐ろしい病気の原因となる“脳動脈瘤”の、適切な治療を行うことに関係した研究です。当院脳神経外科部長の石田を中心とした脳神経外科研究チームのこれまでの努力の結果であり、表彰していただくことができてもうれしく思います。これからも日常の患者さんの診療はもちろんのこと、研究心も大切に日々を過ごしていきたいと思っております。

言語聴覚士 **梅原 健**

私は、『社会貢献』、『研究』、そして『未来』の三つのキーワードを軸に活動しています。社会貢献では、地域社会の発展と医療/福祉の向上を目指し、国立病院という大きな組織に属して社会問題の解決に取り組んでいます。研究の分野では、最新技術や理論の探求を通じて、新たな知見を世に問うことで、より良い社会の構築を目指しています。そして「未来」に目を向けることで、次世代へと繋がる持続可能な発展を追求し、未来の子供たちから高齢者まで全人類が豊かな生活を送れる世界を目指しています。私の活動は、これらの三つの柱を基に、多様な分野において展開することを考え、それぞれが相互に影響し合いながら、より大きな成果を生み出せるよう今後も取り組んでいきたいと考えています。

助産師 **松永 真澄**

今回「新型コロナウイルス感染症に罹患した産婦へのクリティカルパス運用への試み」というテーマで発表し、ベストポスター賞をいただきました。感染症に罹患した産婦の増加に伴い、産科・呼吸器内科ともにスタッフが統一した治療・ケアを行えるようにと当該患者用のパスの作成/運用を行いました。そして、ケアのシステム化を進めたことで、バリエーション率の減少と統一したケアの提供が可能となったことを発表しました。予演会や病棟での事前発表で多くのご意見をいただき、推敲を重ねて受賞することができました。今後もクリティカルパスの活用や周知に努め、患者の満足度や看護の質の向上に寄与できるよう精進して参りたいと思っております。

看護師 **中村 悠**

今回、「急性期病棟の看護師による退院後訪問への取り組みでの学び」というタイトルで発表し、ベストポスター賞をいただきました。このような賞をいただけたのは、共同研究者をはじめとする周囲の方々の支えがあったからこそだと思っております。当院は地域医療支援病院としての役割を担う急性期総合病院であり、医療の在宅移行が進む中、病院から地域へと継続性のある退院支援はいまや必要不可欠です。『患者さまが住み慣れた環境で、安心して、自分らしく生活できること』を目指して、これからも多職種と連携し、退院支援に取り組んでいきます！

看護師 **植松 祐里菜**

私は「知的障害で尿意が不明瞭な患者の排尿自立に向けた取り組み」というテーマで発表をさせていただきました。何気なく誰もががしている排泄行動ですが、「排尿が出るか出ないか」だけがよく問題になりがちです。今回は病棟と排尿ケアチームで協力し、看護の力で、入院前と変わらない「その人らしい」排泄行動ができるようになった症例であり、泌尿器科の看護師として改めてやりがいを感じました。

発表まで全面サポートをし支えて頂いた排尿ケアチーム、病棟でも温かい声をかけ応援をしてくださった皆様には本当に感謝しています。

今後とも排尿ケアチームをよろしくお願いいたします。



三重中央医療センター ボランティア **花咲かせ隊**

患者様の声で「中庭が草だらけ。きれいな花がさいていたら心が晴れるのに」という投書がありました。院内外で花好きな人はいないかと声をかけていただき、花咲かせ隊が結成されたのが令和2年の事でした。耕したり球根を植え付けたり少しずつ花が増えました。コロナパンデミックで疲れ果てた時、辛い時・・・何度もお花に助けられ元気づけられていました。

春と秋にたくさんの苗や土の寄付を受けることができるようになったものの転勤などでメンバーが減り、植え付ける力が欲しい・・・そう思っていた時に、隣接する看護学校に心優しい学生で構成されている園芸部がありプランターへの植え付けのコラボが実現しました。花咲かせ隊には花の特性を知り尽くしたメンバーがいるので、植え付け方のレクチャーなど世代を越えて話せる機会も楽しく心はずむ時間でした。看護学校の玄関周りと当院の玄関にピオラや、まだ土の中で寒さに耐えているチューリップなどの球根も植えています。寒さに耐えることで美しく咲くそうです。人もまた同じかもしれないですね。まだまだ発展途中の庭ですが、地域の方に苗を寄付していただいたり「気軽にゆったり楽しくボランティア」のスタイルで患者様 地域の方職員の方々の少しでも癒やしになればと思っています。写真は秋の植え付けの時のコラボの様子です。

まだまだメンバー募集中なのでお花好き・人が好き そんなあなたを花かせ隊はお待ちしています。



赴任された先生方

新生児科 原田 智哉

2023年10月より小児科(新生児科)に赴任しました原田智哉と申します。三重大学卒業後、初期研修を経て、現在医師7年目になります。小児科医として県立総合医療センター、三重大学病院で勤務した後、超低出生体重児を含む新生児管理を学びたいと考え、今回三重中央医療センターに転勤となりました。当院は総合周産期母子医療センターであり、県下の周産期医療の中核をなしています。少しでも新生児、家族の力になれるよう精進し、自分自身も成長できればと考えています。先生方におかれましても、ご指導のほど、どうぞよろしくお願い申し上げます。



産科 下村 優莉奈

2023年10月より産婦人科に赴任しました下村優莉奈と申します。三重県出身で、趣味は美味しいものを食べることに、たまに行くゴルフです。これまでに三重大学病院や岡山県の倉敷成人病センターで研鑽を積み、この度当院に着任いたしました。産科・婦人科とも、患者様に寄り添い、最適な医療が提供できるよう日々精進してまいりますので、よろしくお願い申し上げます。



「里山こころの便りー榊原の窓から」

若者のメンタルヘルスの重要性

ヒトの生涯におけるメンタルヘルスの問題は、思春期でおこる問題の多くと関連します。実際、大部分の身体疾患の発症リスクは加齢とともに上昇するのですが、精神疾患は若年で発症しやすく、その影響は生涯に及ぶということが報告されています。一方、日本ではコロナ禍の前の知見として精神疾患の生涯有病率が22.0%という報告があり、若者が精神疾患のリスク状態や精神疾患を経験するということは頻度が高いと考えられます。したがって、精神科の問題に至らないための予防、心理社会的な早期介入、早期の適切な診断・治療が必要です。また、ライフステージごとの大きな課題として、発達期では発達障害が教育現場においても重要な問題となっています。

メンタルヘルスの問題は、客観的に把握することが難しく、いつから起こったのか、いつまでどの程度ケアをすれば良いのかが分かりづらいという点があります。また、ほとんどは慢性に経過し、身体の健康、経済的問題、家族の問題などに関連するため、学校生活や社会関係の中で問題が複雑化したり、重症化したりすることがあります。そのため、当事者一人で悩まずに、誰かに相談したほうがよいということの啓発活動が重要です。

現在、榊原病院ではメンタルヘルスの問題を相談しやすいような雰囲気づくりを心掛けています。今後、皆さんが気軽に受診できる医療機関になりたいと思っています。



榊原病院 院長
鬼塚俊明



「クローバー友の会」 会員募集

「クローバー友の会」は地域の皆様と病院が、様々な病気・医療の学習を通して理解を深め合う会として発足しました。賛同いただける方はぜひ会員登録をお願いいたします。登録は無料です。会員には当院から健康に関する様々な情報をお届けします。受付でお声かけください。登録と同時に会員証をお渡しいたします。

たくさん勉強していただいた方には素敵なプレゼントがあります。

記入いただいた個人情報は本会の業務以外には使用せず、安全かつ適切に管理いたします。

三重中央医療センター 地域医療連携室

設立の経緯
三重中央医療センター
クローバー友の会事務局

〒514-1101 三重県津市久居明神町2158-5
TEL. 059-259-1211 内
地域医療連携室

三重中央医療センター クローバー友の会

会員にご登録いただきありがとうございます。
講演会に参加いただくごとに1スタンプ押印いたします。
(スタンプ数による特典は別途公表いたします。特典は変わる場合があります。)

■会員証
住所 _____
氏名 _____
電話 _____

1	2	3	4	5
6	7	8	9	10
11	12	13	14	15
16	17	18	19	20

編集
後記

新年あけましておめでとうございます。
お正月といえば、おせち料理ですが、皆様は何がお好きですか？
私は、黒豆が好きです。黒豆の「まめ」という言葉には、元気・丈夫・健康などの意味があります。また、「まめに働く」「まめに暮らす」などともいわれます。黒豆を食べて今年一年頑張っていきたいと思います。
三重中央医療センターにとって、地域の皆様にとって良い一年になりますように。
今年もどうぞよろしくお願い申し上げます。(長)

発行所

三重中央医療センター

院長 下村 誠

三重県津市久居明神町2158番地5

TEL. 059-259-1211

http://www.miechuo-hosp.jp/

三重中央医療センター

インスタはじめました

病院イベント、スタッフの日常、医学情報の日常などを発信します(^@^)

三重中央医療センター(公式)
アカウント: miechuomc

●●● 三重中央医療センター一連携医療機関紹介 ●●●●●●

三重耳鼻咽喉科

<https://www.miejibika.com>



当院は三重県庁近くの津市観音寺町にある耳鼻咽喉科クリニックです。昭和57（1982）年6月に前院長が開院し、約40年が経過しました。県内各地から多くの患者様にご来院頂いております。平成29（2017）年10月末より現院長に交代、当院のモットーである「安全・安心・納得の医療」を受け継いで、信頼できるスタッフ達とともに日々診療に当たっております。

患者様にご満足頂くためには、お一人お一人から丁寧にお話を伺い、個々に合った治療プランと一緒に考えていく診療スタイルが必要だと考えています。どんな些細なことでも遠慮無くご相談ください。スタッフ一同、誠心誠意対応させていただきます。

最後に、三重中央医療センターの皆様には日々大変お世話になっております。今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。

院 長：坂井田 麻祐子
住 所：〒514-0062 三重県津市観音寺町445-15
電 話：059-228-0100
診療科目：一般耳鼻科・小児耳鼻科・アレルギー科
休 診 日：木曜・日曜・祝日

診療時間	月	火	水	木	金	土	日・祝
9:00～12:00	○	○	○	△	○	○	△
15:00～18:00	○	○	○	△	○	△	△

△土曜午後は17:00まで

中村整形外科皮フ科

<https://tsu-nakamuracl.com>



当院は津市半田で2023年10月に開院しました。親切、やさしさ、思いやりの心を大切に質の高い医療サービスを患者様へご提供し、ご縁がある全ての皆様の幸福を目指しています。MRI、骨密度検査装置など豊富な医療機器を完備し、青少年のスポーツ障害、骨粗鬆症治療、交通事故診療に積極的に取り組んでいます。皮膚科専門医による拡大鏡や皮膚生検などを駆使した診断、美容皮膚科も併設しています。医療脱毛やしみ、美肌治療もぜひご相談ください。

院 長：中村 公一（整形外科専門医）
副 院 長：中村 文香（皮膚科専門医）
住 所：〒514-1311 三重県津市半田206-1
電 話：059-269-5515（WEB予約）
診療科目：整形外科・リハビリテーション科・リウマチ科・ スポーツ整形外科・皮膚科・美容皮膚科
休 診 日：（整形外科）水曜日・日曜日 （皮 膚 科）水曜日・金曜日・日曜日

整形外科（一般診療・リハビリテーション）

診療時間	月	火	水	木	金	土	日・祝
9:00～12:00	○	○	△	○	○	○	△
15:00～18:30	○	○	△	○	○	△	△

△土曜午後は14:00～17:00

皮膚科（一般診療）

診療時間	月	火	水	木	金	土	日・祝
9:00～12:00	○	○	△	○	△	○	△
14:00～17:00	○	○	△	☆	△	☆	△

☆木曜午後・土曜午後は美容皮膚科（予約制）

おおにし呼吸器・糖尿病内科 呼春の森診療所

<http://www.koharunomori.com>



おかげさまで開院5年を迎えました。三重大学病院での診療経験をもとに、呼吸器・アレルギー・糖尿病・内分泌の専門領域を主とした内科診療を提供させて頂いています。一方で、写真のように診療だけではない何かをお伝えしたいと常日頃から考えています。難しい言葉は使いません。難しい顔もしません。ス

タッフ一同、あたたかい診療を提供できるよう心掛けたいと思います。詳しくは、公式ホームページもご覧下さい。

院長：大西 真裕（1診）
副院長：大西 悠紀（2診）
住所：〒514-0061 津市一身田上津部田1581-1
電話：059-233-0024
診療科目：内科
休診日：火曜午前（1診）、木曜午後・金曜午前（2診）
土日祝

1診

診療時間	月	火	水	木	金	土	日・祝
9:00～12:00	○	△	○	○	○	△	△
14:00～17:00	○	○	○	○	○	△	△

2診

診療時間	月	火	水	木	金	土	日・祝
9:00～12:00	○	○	○	○	△	△	△
14:00～17:00	○	○	○	△	○	△	△

信 岡 医 院

<http://nobuchipepo.com>



当院は名張市桔梗が丘に1975年（昭和50年）の開院以来、半世紀近くを名張の歴史と共に歩んできました。2代3代に渡り、お付き合いをいただいている患者様が少なくありません。一般内科診療を主軸とし、小児から高齢の方々の健康増進をお手伝いするととも

に、専門的な介入が必要な症例に対しては三重中央医療センターと速やかな連携を取り、患者様には安心と信頼を得ていただいています。

院長：信岡 亮
住所：〒518-0625 名張市桔梗が丘5-10-45
電話：0595-65-0023 FAX：0595-65-0023
診療科目：内科・小児科
休診日：木曜午後・日曜日・祝祭日

診療時間	月	火	水	木	金	土	日・祝
9:00～13:00	○	○	○	○	○	○	△
16:00～19:00	○	○	○	△	○	○	△



外来診療担当表

●初診及び予約のない再診の方の受付時間は8:30~11:00までです。
●医師の人事異動・出張等により臨時に代診(林診)となる場合があります。

2024.1.1 現在

診療科名等		月	火	水	木	金	
初診内科 (初診・予約外)	1診	井端 英憲【呼】	内藤 雅大【呼】	田中 淳子【循】	川崎 敦【循】	後藤 浩之【糖】	
	2診	新谷 卓也【循】	福岡 秀介【循】	田口 由紀子【消】		村上 弘明【循】	
	3診	宮田 徹也【消】	倉田 一成【消】	坂倉 康正【呼】	渡邊 典子【消】	葛原 正樹【消】	
	4診	宮原 健吉【糖】	宗吉 佑樹【糖】	井田 紗矢香【糖】	西村 正【呼】	岩中 宗一【呼】	
再診内科 (再診予約のみ)	呼吸器内科	5診			井端 英憲(午後再診)		
		6診		井端 英憲	内藤 雅大	大本 恭裕	
	(整形1診)		藤本 源				
	(内科5診)						
	循環器内科	5診	田中 淳子	川崎 敦		村上 弘明(午前再診)	福岡 秀介
	消化器内科	7診	葛原 正樹	宮田 徹也	渡邊 典子	田口 由紀子	倉田 一成
	内科	8診	岡崎 貴大【循】	新谷 卓也【循】	後藤 浩之【糖】	井田 紗矢香【糖】	新谷 卓也【循】
		9診	後藤 浩之【糖】	田中 剛史【糖】	田中 剛史【糖】	田中 剛史【糖】	田中 剛史【糖】
		10診	坂倉 康正【呼】	岩中 宗一【呼】	内藤 雅大【呼】	宮原(健)(1,3週)	岡野 智仁【呼】
		(泌尿器1診)	宗吉 佑樹【糖】			田中(崇)(2,4,5週)	
		(泌尿器1診)	垂見 啓俊【呼】				
	(整形2診)		西村 正【呼】				
腎臓内科(内科6診)		村田 智博					
肝臓内科(内科5診)				吉川 恭子(1,3週)【消】			
(整形3診)					吉川 恭子【消】		
ペースメーカーチェック(14ブロック)		ペースメーカーチェック(毎月第1月曜日午後)			ペースメーカーチェック(毎月第1木曜日午前)		
脳神経内科	1診	北川 長生	北川 長生	北川 長生	有川 茂雄	林 理絵	
	2診	大内 智洋	有川 茂雄	林 理絵	大内 智洋	吉丸 公子	
小児科・新生児科 (初診・再来初診は紹介のみ) (初診以外は完全予約制)	午前	1診	井戸 正流(初診)	櫻井 直人(初診)	井戸 正流(初診)	田中 滋己	田中 滋己(初診)
		2診	小川 昌宏	小川 昌宏	内菌 広匡(1,3,5週)	内菌 広匡	大槻 祥一郎
		3診	田中 滋己	親子支援	大森 あゆ美	小川 昌宏	北村 創矢(予約)
		4診(発達外来)	杉野 典子		杉野 典子	杉野 典子	
	午後	1診	小児外科医師	2週間・1ヶ月健診	内菌 広匡	田中 滋己(1,3,5週)	大森 あゆ美(1,3,5週)
2診		小児神経外来		佐々木 直哉(1,3,5週)	櫻井 直人(2,4週)	佐々木 直哉(2,4週)	
3診		内菌 広匡(2,4,5週)	NICU連携 心エコー外来(1,3週)	小川 昌宏	内菌 広匡(1,3,5週)	成長外来	
4診(発達外来)	杉野 典子		杉野 典子	杉野 典子	シナジス外来		
消化器外科	1診(初診)	湯浅 浩行	辰巳 亜依	大森 隆夫	信岡 祐	林 泰三	
	2診(予約)	信岡 祐	下村 誠	水上 拓哉		湯浅 浩行	
緩和ケア外来(予約・紹介のみ)						安達 勝利	
乳腺外科(予約のみ)	外科2診					石飛 真人	
整形外科 (予約・紹介のみ)	1診	田中 雅		高北 久嗣		田中 雅	
	2診	高北 久嗣		山口 敏郎		山口 敏郎	
	3診	前田 ひづき		前田 ひづき			
形成外科	呼外1診	細見 謙登(第4週オハ)					
脳神経外科	1診(初診)	石田 藤麿	山本 陽子	池澤 宗成	深澤 恵児	山本 陽子	
	2診(予約)		石田 藤麿		池澤 宗成	深澤 恵児	
脊椎・脊髄外科 (予約・紹介のみ)	整形3診				黒田 祐輔【脳外】		
呼吸器外科	1診		午前:安達 勝利 午後:渡邊 文亮		渡邊 文亮	安達 勝利	
心臓血管外科		浦田 康久		佐藤 友昭		日置 巖雄	
皮膚科(初診は紹介状のみ・完全予約制)		中西 朝子	三重大学医師	中西 朝子	三重大学医師	中西 朝子	
泌尿器科	1診		長谷川 嘉弘(初診)	加藤 雅史(初診)	長谷川 嘉弘(初診)	長谷川 嘉弘	
	2診		荒瀬 栄樹		荒瀬 栄樹	荒瀬 栄樹(初診)	
	整形3診(火曜日) 整形1診(木曜日)		大植 裕之		大植 裕之		
産科・婦人科	午前	1診(初診)	横山 由佳	山口 恭平	張 凌雲	榊原 洸太	下村 優莉奈/北村 亜紗
		2診(婦人科再診)	北村 亜紗	村瀬 結香	榊原 洸太	横山 由佳	柏原 優花
		3診(産科再診)	張 凌雲		吉村 公一	吉村 公一	
		4診(助産師外来)		毎日、完全予約制(担当は交代制)			
	午後	1診(産科再診)	横山 由佳	山口 恭平	張 凌雲	榊原 洸太	下村 優莉奈/北村 亜紗
2診(婦人科再診)		北村 亜紗	村瀬 結香	榊原 洸太	横山 由佳	柏原 優花	
3診		張 凌雲	産後一ヶ月健診	吉村 公一	吉村 公一		
4診		毎日、完全予約制(担当は交代制)					
眼科		前田 聡	前田 聡	前田 聡	三重大学医師	前田 聡	
耳鼻咽喉科	午前(初診) (火・金は紹介のみ)		西田 幸平	伊藤 由紀子	西田 幸平	西田 幸平	
	午前(再診予約のみ)		伊藤 由紀子	伊藤 由紀子	伊藤 由紀子	伊藤 由紀子	
	午後(再診予約のみ)	伊藤 由紀子	中耳外来				
放射線科(画像診断)		初瀬 耕	初瀬 耕	初瀬 耕	初瀬 耕	初瀬 耕	
放射線治療 (事前予約のみ)	午前		二見 友幸				
	午後	笹岡 政宏		笹岡 政宏	二見 友幸		
歯科・歯科口腔外科 (金曜日は再診のみ)	午前	柳瀬 成章/ 若林 宏紀/加納 慶子		柳瀬 成章/ 若林 宏紀/加納 慶子	柳瀬 成章/ 若林 宏紀/加納 慶子	柳瀬 成章/ 若林 宏紀/加納 慶子	
	午後	柳瀬 成章/ 若林 宏紀/加納 慶子	柳瀬 成章/三重大歯科医	柳瀬 成章/ 若林 宏紀/加納 慶子	柳瀬 成章/ 若林 宏紀/加納 慶子	柳瀬 成章/若林 宏紀	
看護外来(予約のみ)		第1月曜日 透析予防外来 がん看護相談外来	第2・3火曜日 透析予防外来 がん看護相談外来	糖尿病外来 がん看護相談外来	ストーマ外来 がん看護相談外来	フットケア外来 がん看護相談外来	

不整脈専門外来	形成外科外来	いびき・無呼吸検査	タバコ障害・COPD精査	ものわすれ外来	未破脳動脈瘤の相談	水頭症外来
月・火曜日 午前診療	月曜日 午前診療	月曜日 午前診療	月・火・水・木・金曜日 午前診療	金曜日	月曜日 午後診療	木曜日 午前診療
循環器内科(新谷)	形成外科(細見)	呼吸器内科	呼吸器内科	脳神経内科(吉丸)	脳神経外科(石田)	脳神経外科(深澤)
脊椎・脊髄外科専門 (9時30分~11時)	肺癌・良性肺腫瘍・ 気胸・縦隔腫瘍・膵胸	中耳外来(予約)	助産師外来	おっぱい外来(予約)	乳腺外科(予約)	
木曜日 (9時30分~11時)	火・木・金曜日 午前診療	火曜日 午後診療	月・水・木・金曜日 午前午後診療 火曜日 午前診療	火曜日 午後診療	金曜日 午後診療	
脊椎・脊髄外科(藤本)	呼吸器外科	耳鼻咽喉科(伊藤)	産科	産科	乳腺外科(石飛)	